

お住まいの地域で、台風や集中豪雨など自然災害が発生したときに想定される様々な被害の範囲や程度、避難時期や避難場所を知り、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。

町では、各家庭でできる防災対策や、地域で実施する取り組みなどの解説を行い、防災に対する理解と関心を深め、防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るとともに、地域住民が主体となり、避難について学習し、「個々の避難計画」や「地域の避難計画」を作成していくことを目的とした出張防災講座（避難対策ワークショップ）を実施しています。

各地区で開催された際は積極的にご参加ください。

**【ワークショップの主な内容】**

- 台風や集中豪雨の基礎知識 ○災害発生時の避難行動と注意事項
- 災害時に正しい情報を得る手段 ○避難行動計画の検討
- 日ごろの備え（備蓄品・非常持ち出し袋）、安全対策

**【対象】** 各地区の自主防災組織

**【実施場所】** 各地区の集会所等

**【開催時間】** 1時間半程度

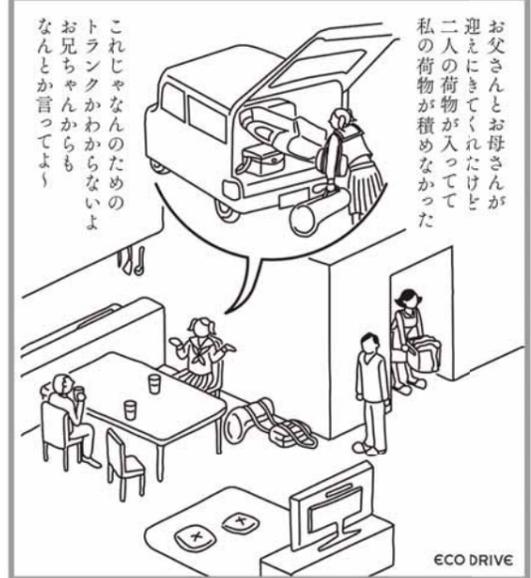
★日高川町では、「洪水ハザードマップ」「土砂災害ハザードマップ」を各家庭に配布しています。ご自宅付近の危険な場所を確認しておきましょう。



お問合せ 防災センター ☎24-9280

OCCH ZERO CARBON CITY HIDAGAWA 令和3年11月ゼロカーボンシティ宣言 2050年二酸化炭素実質排出ゼロを目指します

信頼と燃費を悪化させる積みっぱなし



**■ 不要な荷物はおろそう**  
 運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときは外しましょう。

～できることから始めよう～  
**ゼロカーボンシティ 日高川町**

**■ エコドライブとは**

燃料消費量やCO2排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる「運転技術」や「心がけ」です。また、エコドライブはお財布にもやさしく、交通事故の削減にもつながります。

誰でも今すぐ始めることのできるエコドライブ。普段の運転から意識してみませんか？



(環境省「COOL CHOICE」)

**日高川町住宅用蓄電池システム設置補助金のご案内**

日高川町では、地球温暖化防止対策の一環として、エネルギーの自給率の向上および災害に強い地域づくりに寄与するため、太陽光発電システムを同時に設置するまたは既に設置している方が、新たに住宅用蓄電池システムを購入し設置する場合、費用の一部を補助します。詳細は町ホームページをご確認ください。



お問合せ 企画政策課 ☎23-9511



日高高校中津分校 高校3年生による  
**地元企業紹介**

**ニシキ合金株式会社**

本ページは、地域学習の一環として、日高高校中津分校の3年生が、町内の企業を取材し、記事にしたものです。

Vol.5

私たちが取材しました！是非、ご一読ください！！



**取材先の企業情報**

- 会社名** ニシキ合金株式会社 和歌山工場
- 所在地** 日高川町三百瀬1204-13
- 本社** 大阪府貝塚市二色南町3-9
- 和歌山工場開設** 1996年
- 本社創業** 1954年
- 従業員数** 11名(和歌山工場)、40名(本社)、50名(タイ工場)
- 事業内容** 超硬合金を用いてオーダーメイド製品を製造するものづくり企業。和歌山工場ではビールや果汁飲料などの缶金型製造を主に行っている。
- 生産拠点** 大阪、和歌山、タイ

※2010年ISO9001認証(商品やサービスをより良い品質で継続的に提供するマネジメントシステムに関する国際規格)取得。  
 ※2021年健康経営(従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること)認定取得。



坂田 虎太郎 さかもと 英万 しらかわ 知幸 たかはし 蓮

□会社で大切にしていることは  
 失敗を恐れず、どんどんチャレンジしていくこと。失敗の経験をしないと、前に進めないのが会社全体で、チャレンジしていく意識を持って仕事に取り組んでいるそうです。

□会社の目標  
 唯一無二の製品、使ってもらって喜ばれる製品を作ること。お客様に供給するものは「製品」ではなく「安心」。目に見えない安心を目に見える形で示すこと。

□感じたこと  
 「目に見えない安心を目に見える形で示すこと」という目標にチャレンジされていて、製品で示す「安心」、納期や出来映えで示す「安心」、商談や商品作りへの対応力で示す「安心」、どういう風にそれを実現されるのか興味を持ちました。工場長は私たちの質問に対して丁寧に答えてくださり、色々なことを聞くことができました。また、この会社はタイにも進出されていて、国際的に活動されている会社だと知りました。工場長は自社の金型で製造されている缶を使用している商品を見てみると、自分の仕事も会社の中で受け入れられていることに喜びを感じているように思えます。どんな仕事でも一緒に社会に役立っていると思える瞬間が一番なのだろうなと思いました。また、そういう想いを持つ方が作った商品だと知ると、それを使う側にもその想いを噛みしめて大切に使うとか、同じ思いを共有したいという互いを尊重し合うような温かい気持ちが生まれてくるように思います。

